

昭和50年度 上田千曲高校同窓会 総会開催のお知らせ

●日時 昭和50年11月8日(土) 午後1時より ●場所 上田勤労者福祉センター (旧保健所あと) ☎24-7363

上田千曲高校 同窓会便り

発行所 長野県上田市中条626 上田千曲高等学校同窓会 TEL 7070 〒386 代表 滝崎 隆 印刷所 (有) 竹内印刷

議題

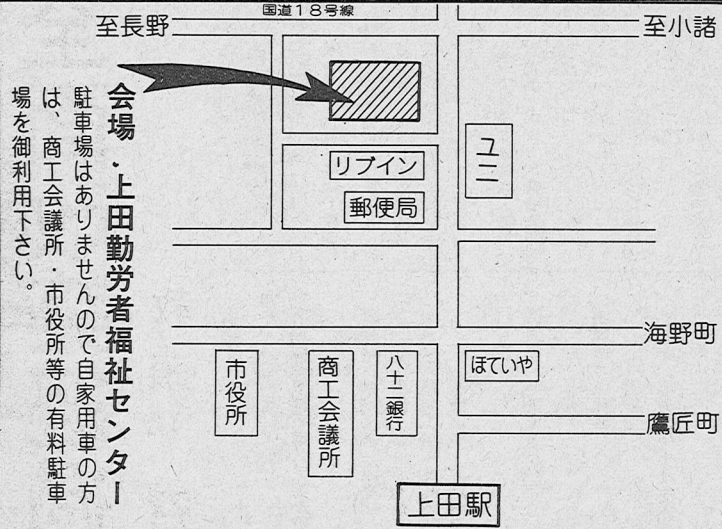
- 一、開会の辞
- 一、校歌斉唱
- 一、挨拶
- 一、会務報告
- 一、49年度決算報告
- 一、50年度事業予算案審議
- 一、母校校舎全面改装に関する件
- 一、その他
- 一、懇親宴会 (会費500円)

例年の総会は母校の文化祭時に同窓生が集い、会場を設けて同窓会の総会をもつたのでありますが、本年は母校の新校舎移転にもない文化祭も在校生のみを対象として行われませんでした。

そこで本年は同窓会総会の意義を深め、一層の同窓生間の親睦を図りたいと考え、ここにお知らせを致します。

住所簿の不備によって、この通知が届かない方もおられるかと思いますが、同窓生の皆様にお互いにお知らせ願ひ、11月8日には盛大に総会、懇親会を開催できましよう御案内申し上げます。

同窓会長 滝崎 隆



同窓会総会には、お誘い合せて、多数お出なかけ下さい。

なつかしい同級生やクラブ員が、あなたのおいでを待っています。

清水 洗

戦後約30年飛行学校跡のバラック校舎に、青春の情熱をかけて勉強にクラブにがんばった同窓生が、夢にまで願った新校舎が出来た。生徒は喜んで勉強しています。これ偏に、立派な同窓生に負うところが大きいと感謝しております。さて教育には時代と共に変えて行かねばならぬ部分と、変えてはならない部分があると思います。後者が学校の伝統とも云うべきでその学校の卒業生と共通の場であり、機会さえあれば性別年齢を超越してお互いに語り合えることを願ひます。今回役員の方々が広い総会場を設けてくれたことは誠に好都合だと思います。

どうぞ卒業生諸君沢山集って下さい。私共職員は、立派になった諸君の姿にお目にかかると、日を今から楽しみにしております。

同窓生のみなさんへ

丸山登一郎

同窓生の皆様は益々活躍のことと思います。

同窓生のみならず、校舎も新しくなりました。生徒の気風も変わりました。しかし、上田千曲高校は変わっていません。皆々が卒業された千曲高校は永遠に皆さんと共にあります。そして、この母校を暖かく見守り、逞しく育てて下さる人、それは同窓生の皆さんであると思います。

昨年は在京の各コース卒業の世話人に選ばれた方々の努力で第一回関東支部総会が東京都府県会館で盛大に開催され三百有余名の各卒業生が参加されました。又、本年も九月二十一日第二回関東支部総会が同じ場所で開催され関東一円在住の同窓生が昨年以上に集い、千曲川辺の学舎に学びし頃をしのび当時の学友と共に語り合い、遠く想いを母校に寄せ、母校の発展を喜び合うと同時に同窓生の結束を固めました。

一方、地元においても同窓生の皆さんの切なる願ひを背景に地元

支部の設立が急がれ、名簿作成が完了し着々とその準備もとのいっつつある昨今であります。時あたかも新校舎も一部完成し移転も行なわれ、伝統の上に新しい千曲高校の姿がまきまき上りつづつあります。ひとえに同窓生みなさんのご尽力の賜もと思ひます。

今回十一月八日(土)午後一時より上田勤労者福祉センターにおいて同窓会総会が開催されることになりました。これは誠に意義深いことと思ひます。母校の発展は同窓生の力に負うところ多大なものであります。総会を通して同窓生の結束を切に願ひする次第であります。近くへお越しの折には新校舎へお立ち寄りご覧ください。

「懐しの我母校」 昭和二十年本科卒 二十二年専攻科修了 小山典子(旧姓 竹内)

ゆつたりと流れる千曲川は、あの当時と今も変わらず、新しく開通したばかりの古舟橋の下を流れておりました。橋を渡ると大きく立派な鉄筋造りの体育館が先ず目に入りました。

雨上りの露にぬれて校庭をかむポプラの木々の緑が光って新しい校舎を映しています。雨の時間を覚えて日曜日の夕ぐれ時に訪れた母校の周辺の光景は、二十数年ぶりの私の心を感動させました。

清水先生より先日「新校舎に移転する」というお話を聞き、何だかとも訪れてみたい衝動にかられ、娘の運転する車で千曲川へりから新校舎をぐるぐる廻って

「住所変更」をされました

この「同窓会便り」の内容をよみ充実にしたいと願って同窓生諸兄の寄稿をお待ちします。

一、内容 自由

一、原稿 四百字原稿用紙三枚程度

一、送先 上田市中条六二六 上田千曲高校同窓会宛

同封の「住所変更」をされました

母校の校舎全面改装の暁には「同窓会名簿」(改訂版)の発行を予定しております。より正確で不足のないものをと願っております。又、この会報も同窓生の皆様に漏れなく届くことができますよう住所、勤務先等の変更がございましたら御手数ですが同窓会事務局まで同封の「住所変更」をさせていただきます。

「私の願い」 昭和十一年 家政科卒 半田万砂子

素肌のお腹を私の首におしつけ、御主人を独占していた。

「苦しいですよ」とはねのけたドサツとベッドから落ちた。

ピョンと飛び上っておさえ込みの型で首にお腹をおしつけ、拒絶。ドサツ、又とび上っておさえ込み。その執権に怒るよりあきれついて、「苦しいから駄目」と横むきになりながら母親の方に押しやられた。

上向きに長々と人間型で眠っていた母親は寝返りしながら「犬梨の寝相になった。御主人が上向きに寝直すとも、モノと御主人の体のどこにでもはいれる。私のいのちを落とす、落ちた場所の賛同を得まして「賛助会費」を御送り下さる際には次の点を漏れなく記入下さい。

一、卒業年度(全、定)

一、住所(住所簿の訂正をします)

「賛助会費」納入に際して

四十九年度に校舎改装賛助会費を納入下さった方々の芳名簿を同封致しました。紙面をかき取り御礼申し上げます。今後同窓生諸兄の賛同を得まして「賛助会費」を御送り下さる際には次の点を漏れなく記入下さい。

一、卒業年度(全、定)

一、住所(住所簿の訂正をします)

職員の異動

昭和五十年年度

御退職

販売部 堀内 ひろみ先生 本校御在職 二年間

御転任

商業科 曲淵 博 本校御在職 三年間

岡谷電上高等学校長に 本校御在職 十八年間

平野 幸男先生 本校御在職 十八年間

長野商業高校へ

社会科 田中 美紀夫先生 本校御在職 三年間

飯山北高校へ

電気科 小岩井 淳先生 本校御在職 十二年間

長野工業高校へ

国語科 工藤 恒良先生 本校御在職 十二年間

野沢北高校へ

御新任

商業科 沼田 十年先生

赤穂高校より教頭として 社会科 市川 武信先生 新規採用

電気科 青木 元雄先生 岩村田高校より

電気科 北島 勲夫先生 松本工業高校より

国語科 神田 晴夫先生 野沢北高校より

国語科 梶 祐一先生 野澤北高校より

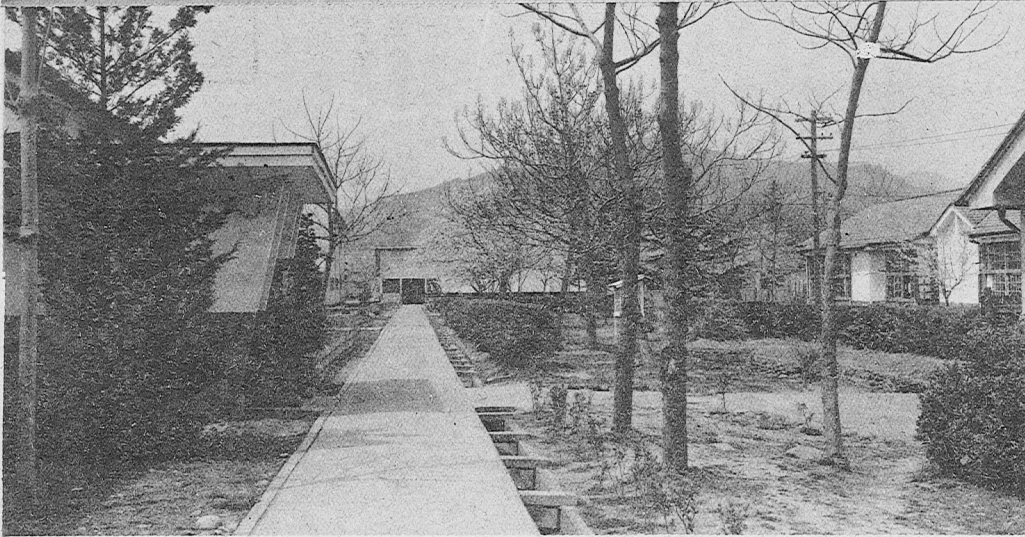
芝術科 近藤 義人先生 野澤北高校より

英語科 山崎 敬夫先生 屋代南高校より

建築科 藤本 優先生 長野工業高校より(兼務)

校舎全面改築経過報告

教頭 召田十年



本年四月、曲淵先生の後任として赤穂高等学校より転任して参りました。至らぬ者でございますが、皆々様のご指導ご鞭撻を得て、その職責を完うしたいと考えておりますので、何卒前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

次に、ご心配を頂いております校舎改築の件でございますが、お蔭様にてこの夏休みに移転を終り、生徒達も新校舎の恵まれた環境の下、喜んで勉学に勤しんでおりますのでご安心ください。

さて、前報にてご報告後の改築経過は次の如くであります。

(校舎関係)

- 四九・九・四 高圧電気配線工事完了
- 四九・一〇・一六 南ホームルーム棟竣工検査
- 四九・一〇・二〇 管理棟入札 (東信土建)
- 四九・一一・一六 北ホームルーム棟竣工検査
- 四九・一一・一五 南北ホームルーム棟設備検査
- 四九・一一・二〇 南北ホームルーム棟手直し工事完了
- 四九・一二・一七 管理棟電気棟の電気工事設備工事入札
- 四九・一二・二二 電気棟 協電社
- 四九・一二・二六 電気棟 清水機工
- 四九・一二・二八 電気棟 北斗電気
- 四九・一二・二九 設備工事 上野設備
- 五〇・四・二六 南北ホームルーム棟取得
- 五〇・五・一五 管理棟竣工検査
- 五〇・五・二八 管理棟 電気給排水設備検査
- 五〇・六・二一 建築棟入札予定
- 五〇・七・九 管理棟手直し工事完了
- 五〇・七・九 電気棟竣工検査
- 五〇・七・九 電気棟 電気関係設備検査
- 五〇・七・一二 電気棟手直し工事完了
- 五〇・七・一八 建築棟工事打合わせ
- 五〇・八・一一 新校舎一部(校長室・事務室)移転
- 五〇・八・一九・二二 新校舎へ移転
- 五〇・十・三十一 建築棟入札予定

去る九月二十一日、関東支部の才三回総会が開催された。この夏以来、急速に盛り上がりを見せた家政科や機械科はやはり参加者が多かった。

集まった同窓生は約二百名、学校からは、校長先生、丸山先生、春原先生、久保先生をお迎えし、本日から成沢副会長が出席された。当日は上田市市長石井泉氏からも祝電が届いた。そして上田高校同窓会関東支部副支部長、県同窓会関東連合会幹事長矢島五郎氏にも御出席戴いた。矢島氏の御挨拶は会員諸君に多大の感銘を与へた。又矢島氏から上田高校関東支部会報等、御土産を戴き、我々も頑張らなくてはと強く感じた。

当日のアトラクションは、ミノルフォンレコードの柴田昭子さんでこれも合計十五曲に及ぶ名調子は会員諸君にも評判が良かった。

しかしこの会も上々吉と終わった訳ではない。議事は型通り進んだが、本年も又、役員は暫定という事にしかならなかった。これは会則問題がすつきりした形で解決されていぬ事にほかならない。こうした問題は旧来の運営形態を唯漫然と継続するという事ではなく、同窓会全体の大きな問題として早期に解決されねばならない問題であらう。又他校の運営の仕方等も大いに参考にする必要も生れて来よう。

しかし今回一番優越感を感じた事は、上田高校の矢島氏が、オメガ工連の同窓会はオン・シヨウが、いるからなごやかでい、なあ、と、いみじくもたまった事である。

関東支部 だより

神林徳治

ある雑誌のグラビアを飾る「同窓会」生交歓が長く掲載され、その人気を保っている。功成りては人々がニコニコ笑いながら、往年の思い出を語りあっている姿を見るたびに、そこに掲載されていなくとも同級生はどんな人達で、どのような生活をしているのだろうか?と思うと興味はつきない。

われわれの千曲高(正確には上田市立高)卒業当時も、腕白でやんちゃだった友、黙々と勉学にいらした友、黙々と勉学にいらした友、要領よく適度に遊んでいた友、要領よく適度に遊んでいた友、仲間等、幾多の友が、現代のこのまじり社会にそれぞれ生きていっているに違いないが、どうしているだろうか?交友のたぐいでいっているだろうか?交友のたぐいでいっているだろうか?交友のたぐいでいっているだろうか?

寄稿

同級生交歓

昭和二十三年 機械科卒 成沢秀敏

カーサの経済九原則が出されたことにより、企業はきびしい規制を受け、更に加えて労働組合攻勢のげげしい時であり、工場閉鎖統合がさかんに行われ、現在の不況以上に就職戦線は思うにまかせなかつた。(上田富士通が東京へ統合されたのもこの年である。その上、ごく一部の人を除いては、大学へ進学するほど家庭に資金もなくなり、戦後の混迷たる社会に果敢と進まなかった。同窓会名簿を見て生かした就職がすすむ心ならずも、多様な職種へ進んでいることが、当時を如実に物語っているといえる。

同窓会名簿を見たからと、突然の便りほど嬉しいものはない。身が、背が小さく世話すぎたA君、北海道へ渡り、老人センターの名物部長となり、いかにその特

性を生かしているかと聞く。写真家となったF君。大病院の給食部長のK君など。苦難の時代を根強く生き抜いて来たせいかなにか各自の持ち味を発揮した職種で、成功しているように思う。十一月八日は千曲高校同窓会総会である。この機会をとらえて全員集合し、当時の思い出を語り、旧交を暖めたいと考えている。昭和二十四年機械科卒業の同級生諸君、今から日程を都合しておいてほしい。

事務局 だより

秋風の、こちよく感ずる頃となりました。今年一度の総会を目前にひかえ、「同窓会便り」をおとどけ出ます。事務局一同喜びにたえません。

校内係職員十一名、うち、同窓生(上羽貞子、高橋弘、林明男、春原浩一、清水文子、綱島静子)は、若輩ばかりで、力たらずではありますが、係の先生方にさ、えず、同窓会事務局宛にお知らせ下られて、一生懸命頑張っています。さい。

昨年より関東支部が誕生し、二回目の総会も盛大に出来ました。心をよりお祝ひ申し上げます。来る十一月八日(土)の総会には皆々様の多数ご参加下さいます事を願っております。

今年には県内の支部づくりを力を入れています。市町村単位の支部を作りたいと思っております。

皆々様のあたたかな御支援により、賛助費も着々と額を増して参りました事をご、ご礼申し上げますと共に、まだ、ご賛助し上げない方は、ぜひお願ひしたいと思っております。

東京都北区豊島6-15-9 半田正子(万砂子)様(昭和11年本科卒)には、長い間、毎月々賛助費をお送りいただき、ありがとうございます。事務局一同感謝しております。書面をおかりして、ごにお礼申し上げます。

今年より「同窓会便り」を「同窓会便り」と名をかえ、皆々方のお便りにしたいと思っております。「クラス会便り」とか、職場での「同窓会便り」に原稿をお寄せいただければ幸いです。尚、住所の変更になった時は必ず、同窓会事務局宛にお知らせ下さい。

昭和49年度決算

長野県上田千曲高等学校同窓会(一般会計)歳入歳出決算書
 金 1,136,328 (歳入決算額)
 金 986,726 (歳出決算額)
 金 149,602 (歳入歳出差引翌年度繰越金) 昭和50年3月31日

収入の部					
番号	項目	予算額	決算額	増・減△	
1	前年度繰越	324,577	324,577	0	
2	終身会費	802,000	802,000	0	
3	同窓会報序告記載料	50,000	0	△ 50,000	
4	受取利息	10,000	9,751	△ 249	
	合計	1,186,577	1,136,328	△ 50,249	

支出の部					
番号	項目	予算額	決算額	増・減△	
1	積立基金	200,000	165,000	35,000	
2	總會費	20,000	5,280	14,720	
3	同窓会連合会費	1,000	1,000	0	
4	同窓会連合会費	25,070	25,070	0	
5	旅費	43,000	20,440	22,560	
6	事務費	20,000	20,451	△ 451	
7	支部関係費	140,000	302,215	△ 162,215	
8	支会報発行費	500,000	421,920	78,080	
9	備用人手費	140,000	114,000	26,000	
10	備用品費	69,000	54,000	15,000	
11	備用品購入費	21,000	21,600	△ 600	
12	予備費	7,577	4,327	3,250	
	合計	1,186,577	986,726	199,851	

昭和50年度予算

長野県上田千曲高等学校同窓会(一般会計)予算書
 昭和50年6月22日

収入の部					
番号	項目	49年度決算額	50年度予算額		
1	前年度繰越	324,577	149,602		
2	入会金	802,000	746,000		
3	同窓会報広告料	0	20,000		
4	受取利息	9,751	8,000		
	合計	1,136,328	923,602		

支出の部					
番号	項目	49年度決算額	50年度予算額		
1	總會費	5,280	20,000		
2	同窓会連合会費	1,000	1,000		
3	同窓会連合会費	25,070	30,000		
4	旅費	20,440	45,000		
5	事務費	20,451	30,000		
6	支部関係費	302,215	150,000		
7	支会報発行費	421,920	400,000		
8	備用人手費	114,000	150,000		
9	備用品費	54,000	75,000		
10	備用品購入費	21,600	15,000		
11	予備費	750	7,602		
12	合計	986,726	923,602		